

# 東峰村社協だより

第103号  
令和5年11月15日号  
東峰村社会福祉協議会  
事務局（喜楽来館内）  
☎ 0946-74-2012

## 令和5年7月13日設置

### 東峰村災害ボランティアセンター報告

村では、7月7日から10日にかけての記録的な大雨により、土石流や法面崩壊、家屋への土砂流入など、6年前の平成29年豪雨に匹敵する甚大な被害を受けました。

7月11日（火）に村から協定に基づき、社協に災害ボランティアセンターの設置要請があったことから、12日（水）に福岡県社会福祉協議会等と協議を行い、近隣市町の社会福祉協議会の協力を得、13日（木）に「東峰村災害ボランティアセンター」を喜楽来館に開設し、15日（土）からボランティア活動を開始しました。活動当初より、たくさんの方のボランティアの皆様にお越しいただき、9月30日（土）に閉所する間、564名の方々に協力いただきました。

6年前の災害の時にも来ていただいたボランティアさんも多く、「東峰村のことが心配で駆け付けました」など、温かい言葉もたくさんいただきました。詳しい報告内容は、東峰村社協のホームページに掲載していますのでご覧ください。



ホームページアドレス  
<https://toho-shakyo.net/>

## 寄付金

令和5年4月14日より令和5年11月10日までの間に、次の方々よりご寄付をいただきました。深く感謝申し上げます。

- ◎香典返し寄付
- 小石原北区 原上
- 熊谷 元徳 様 (故 美恵子 様)
- 東福井地区 原
- 原 千里 様 (故 熊谷 信子 様)
- 上福井地区 竹布
- 川村 明彦 様 (故 文夫 様)
- 小石原南区 皿山
- 柳瀬 眞一 様 (故 近江 様)
- 中原地区 真加田
- 井上ツネヨ 様 (故 峯夫 様)
- 小石原中央区 上町
- 坂本 憲保 様 (故 智美 様)
- 小石原鼓南区 東上
- 澁谷 紀男 様 (故 貢 様)
- 小石原鼓南区 野中
- 辻 伸也 様 (故 政喜 様)
- 小石原中央区 上町
- 福嶋 秀作 様 (故 運 様)
- 小石原鼓南区 東上
- 阿波 正治 様 (故 次代 様)
- 東福井地区 紙屋の下
- 仲道 優 様 (故 順子 様)
- 板屋地区 桑の迫
- 室井 政春 様 (故 正利 様)
- 小石原鼓南区 桑鶴
- 辻 千代香 様 (故 善信 様)
- 東福井地区 寺村
- 川島やち子 様 (故 熊谷フミ子 様)



### 健康運動教室の開催

11月9日（木）に長寿会で健康運動教室を開催しました。今年度はロコモティブシンドローム（運動器症候群）をテーマに、原鶴温泉病院の理学療法士の方々にお願いいただき、講義とロコモ度テストを実施しています。

ロコモ度テストでは、立ち上がりテスト・2ステップテスト・ロコモ25など、身体の状態や生活状況から、現在の参加者各自のロコモ度の測定を行いました。



### シルバークッキング教室の開催

10月26日（木）に寿会でシルバークッキング教室を開催しました。今年度のテーマは、健康運動教室と合わせて「ロコモティブシンドローム予防のための食事」と題し、管理栄養士の床嶋先生からお話をいただきました。

また、新型コロナウイルス感染症も落ち着いてきたことから、今年度から調理実習も再開しました。久しぶりに皆さん揃っての会食ともあって会話も弾み、楽しくおいしく頂きました。



### 老人クラブ連合会 ニュースポーツ体験会

11月6日（月）村民センターにおいて、老人クラブ連合会ニュースポーツ体験会を開催しました。例年この時期に、グラウンドゴルフ大会を村民グラウンドで行っていましたが、災害の関係で使用できないためニュースポーツ体験会に変更し実施しました。

当日は、福岡県レクリエーション協会の方々及び集落支援員の方々にご協力いただき、モルック・ソフトダーツ・ラダーゲッター・つりっこ・ディスクン・ポッチャ・卓球バレー・皿回しの8種目を体験しました。会員の方々が初めて体験する競技も多く、興味深げに取り組み笑いあいの多い体験会となりました。

体験会のあとは、各単位クラブ対抗のラダーゲッター大会を行いました。社協では、ソフトダーツなどの用具を揃えていますのでご利用ください。



### 赤い羽根共同募金運動

- 東福井地区 寺村
- 伊藤 勝義 様 (故 トシエ 様)
- 小石原中央区 上町
- 豊島 重隆 様 (故 安隆 様)
- 小石原鼓北区 鶴
- 和田 茂臣 様 (故 シゲ子 様)
- 大行司地区 大行司東
- 恵良 規子 様 (故 室井 保子 様)
- 上福井地区 竹布
- 井上 和廣 様 (故 ミヤ子 様)
- 小石原鼓北区 鶴
- 鳥居ももえ 様 (故 米岡 安枝 様)
- 大行司地区 大行司中
- 井上 恵子 様 (故 漆谷 敏恵 様)
- 栗松地区 栗林の下
- 熊谷 辰己 様 (故 美穂 様)

今年も10月1日から全国一斉に77回目の赤い羽根共同募金運動がはじまりました。皆様から寄せられた募金総額の約83%が、東峰村社協へ配分され高齢者、障がい児・者、児童・青少年、その他の活動費として役立てられています。今年も皆様のあたたかいご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。



この広報誌は共同募金の配分金を受けて発行しています

### 朝倉郡身体障害者協会 グラウンドゴルフ大会

10月24日（火）東峰村で朝倉郡身体障害者グラウンドゴルフ大会を開催しました。当日は天気にも恵まれ、楽しい交流の時間を過ごすことができました。

また、身体障害者協会では、福岡ブロックグラウンドゴルフ大会や、福岡県フライングディスク大会などにも参加し、様々な活動を行っています。随時会員の募集も行っていきますので、ぜひ加入をお願いします。



### 福岡県社会福祉大会の開催

10月23日（月）クローバープラザ（春日市）において「令和5年福岡県社会福祉大会」が開催されました。

この大会において、東峰村社協元監事の元永英美様が、社会福祉事業特別功労者表彰を受けられました。

元永様は、平成17年3月の社協合併当初から18年間の長きにわたり、東峰村社会福祉協議会の監事としての職を担っていただきました。長い間、本当にありがとうございました。





7. 訪問型介護予防事業

◆ 配食サービス事業

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
配食数	208	181	205	187	171	176	192	188	176	130	113	144	2,071

8. 通所型介護予防事業

<p>◆運動器の機能向上事業（機能訓練事業）</p> <p>毎週金曜日喜楽来館で、事業対象者の方々を対象に、有酸素運動や簡易な器具を用いた運動を行うことで、要支援状態になることを予防する機能訓練を行いました。</p> <p>年間実施回数 47 回、年間参加者延数 302 名</p> <p>◆運動器の機能向上事業（通所リハビリ教室）</p> <p>水曜日の午前中いずみ館で、理学療法士の指導のもと、トレーニング器具を活用し、運動機能低下の予防並びに運動器の機能向上を目的とした通所リハビリを行いました。</p> <p>年間実施回数 49 回 年間利用者延数 180 名</p>	<p>◆認知症予防教室</p> <p>7 単位老人クラブごとに認知症とその予防のお話と、脳トレを実施しました。参加者延べ数 93 名。</p> <p>◆シルバークッキング事業</p> <p>単位老人クラブごとに「ほっておくと怖い生活習慣病～高血圧と食事～」について講話を行いました。参加者延べ人数 70 名。</p> <p>◆口腔機能向上事業（あなたのお口見守り隊事業）</p> <p>機能訓練受講生を対象に口腔講話と口腔チェックを実施し、訪問指導が必要な方には歯科衛生士が直接自宅を訪問し、歯磨き指導などを行いました。</p>
--	--

9. 任意事業（家族介護者支援事業）

◆ 終活セミナー ～「福祉用具・住宅改修」「生前整理」「相続や終末期医療」「エンディングノート」などをテーマに6回開催しました。参加者延べ数70名

10.その他の事業（高齢者生きがいづくり事業）

◆ 高齢者大学・・・「食べて動いてフレイル予防」や「高齢者の気を付けたい詐欺被害」「認知症サポーター養成講座」等をテーマに講義の開催。日帰り研修も実施しました。参加者延べ数224名。

◆ いきいき教室・・・高齢者大学の午後の事業として、軽体操やレクリエーション、また認知症予防などに関する講話や実技を実施しました。

◆ 寝具類等洗濯乾燥消毒サービス・・・7月に実施、利用者数20名。

◆ 生活支援体制整備事業・・・協議体を2回開催。主なテーマについては、「村内の買い物支援」「移動スーパー事業」「社会資源マップの作成」などについて協議を行いました。・買い物ツアーについては3回実施。参加者延数39名

11.地域生活支援事業

◆ 基幹相談支援センター～地域における相談支援の中核的役割を担う機関として、障がいのある人、その保護者、介護者などからの相談に応じ、必要な情報提供等の支援を行なうとともに、虐待の防止や権利擁護のために必要な援助を行ないました。

令和4年度 収支決算報告 (円)

収入項目	金額	支出項目（事業名）	金額
会費収入	9,000	法人運営事業	22,607,332
寄付金収入	1,474,655	共同募金事業	861,900
補助金収入	16,141,000	居宅介護事業	9,354,027
受託金収入	24,503,700	受託事業	20,886,630
事業収入	2,601,825	喜楽来館管理運営事業	3,993,258
介護保険収入	10,199,422		
障がい者福祉サービス収入	164,500		
共同募金配分金収入	861,900		
雑収入	811,761		
前年度繰越金収入	8,704,786		
合計	65,472,549	合計	57,703,147

令和4年度 東峰村社協事業報告及び決算報告（概要）

1. 法人運営・共同募金事業

<p>1.会議の開催</p> <p>理事会(3回)・評議員会(3回)・監事会(2回)</p> <p>評議員選任・解任委員会(2回)</p> <p>2.研修会及び会議への参加</p> <p>民生委員児童委員との定例会・ケア会議・集落支援員との定例会・両筑地区社会福祉協議会・朝倉介護保険事業者協議会などへの参加</p> <p>3.地域福祉活動計画の策定</p> <p>行政が作成する第3次地域福祉計画の作成にあわせ、地域福祉推進を目的とする実践的な活動・行動計画である地域福祉活動計画を地域福祉計画と一体的に作成しました。</p> <p>4.インターネットを活用した情報の発信</p> <p>社協事業の周知や情報発信の充実、法人運営の透明性を図るためホームページを公開しました。</p> <p>5.児童福祉の推進</p> <p>福祉教育教材「ともに生きる」及び福祉教育読本「ともに生きる」の配布、夏休み親子会活動への助成</p> <p>6.母子・寡婦福祉会援助</p> <p>母子寡婦福祉会への助成・総会及び母子寡婦の集いの開催・役員会年1回開催</p> <p>7.身体障がい者福祉事業の推進</p> <p>身障者福祉協会への助成・総会の開催・グラウンドゴルフ大会への協力・役員会年3回開催</p> <p>8.戦没者遺族会援助</p> <p>遺族会総会の開催・役員会年4回開催</p> <p>9.ボランティアセンター運営事業</p> <p>社協で保有するレクリエーション用具の貸出を行ないました。</p> <p>10.福祉用具貸出</p> <p>社協で保有する車イスの貸出を行い、介護者の負担軽減を行いました。・利用者4名</p> <p>11.日常生活自立支援事業</p>	<p>12.ふくおかライフレスキュー事業</p> <p>生活困窮者等に対する相談や食材・ライフラインの復旧の経済的援助を行いました。相談件数3件</p> <p>13.村内社会福祉法人情報交換会</p> <p>地域における公益的な取組について、村内の社会福祉法人（宝珠の郷、清和園、社協）で協議を行っています。</p> <p>14.高齢者福祉の推進</p> <p>老人クラブ連合会総会・女性部タオル回収・グラウンドゴルフ大会の支援・役員会年7回開催</p> <p>15.敬老の日を祝い記念品の贈呈</p> <p>行政との共催で70歳、77歳、88歳、100歳以上の方々へお祝いの品を贈呈しました。</p> <p>16.広報誌（社協だより）年6回発行</p> <p>17.共同募金広報誌の発行 年1回</p> <p>18.ひとり暮らし高齢者交流事業</p> <p>コロナ禍のためバスハイクは中止し、代わりに「おうちで東北」の商品セットを103名の方々へお配りしました。</p> <p>19.福祉協力校助成事業</p> <p>村内の小学校・中学校へ社会福祉への理解と関心を高め心豊かな人権感覚を養うことを目的に助成を行いました。</p> <p>20.東峰学園での福祉教育</p> <p>東峰学園の7年生を対象に、「日本がもし2,000人の村だったら？」をテーマに車いす使用者や高齢者、妊婦、多国籍の方の疑似体験を行いました。</p> <p>21.葬祭扶助事業の実施</p> <p>42名の物故者への葬儀参列</p> <p>22.歳末たすけあい事業の実施</p> <p>70才以上のひとり暮らし高齢者の方々へお蕎麦をお配りしました。また施設入所者の方々へお見舞い品の贈呈。対象者103名</p>
---	---

2. 介護保険事業

◆ 東峰村社協ケアプランサービス事業所

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用者	35	37	34	37	37	36	35	36	31	32	35	33	418

◆ 東峰村社協ホームヘルプサービス事業所

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用者	18	17	17	16	18	19	22	20	19	17	14	14	211

3. 心配ごと相談事業

・年5回（5月11日・7月13日・10月12日・12月14日・3月8日）喜楽来館といずみ館で交互に開催。相談件数としては2件・相談員（民生委員児童委員・人権擁護委員・行政相談員・司法書士の方々）

4. 生活福祉資金貸付事業

・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、休業や失業等により生活資金でお悩みの方々に向けた、償還免除の特例を設けた緊急小口資金や総合支援資金の特例の相談及び貸付を行いました。

5. 福祉バス運営事業

・遺族輸送については4回利用。一般団体利用については2回利用。買い物ツアーについては3回利用。

6. ミニシルバー人材センター

・草刈り作業や庭木伐採など、草刈作業等73件依頼、年間作業人員108名、年間作業時間967時間

・いずみ館お風呂清掃年間作業時間186時間。